

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

本日、黒い俺に **求愛** されました。

TOUKENRANBU FANBOOK
TSURUMARU x TSURUMARU



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

本日、黒い俺に永遠を
お返しした。

TONKENRANBU FANBOOK
TSURUMARU & TSURUMARU

関係者事項

この本は同人誌(同人誌)への購入品として扱われます。
また、同人誌(同人誌)として扱われます。
また、同人誌(同人誌)として扱われます。

同人誌(同人誌)として扱われますので、同人誌(同人誌)として扱われます。

人生には驚きが必要だ





愛きはある日突然
やっけてきては
俺の心に問いを
置してくれる

手廻不能で愛情的な
愛き程心揺さぶられる
ことはない



手廻し得る出来事だけじゃあ
心が先に死んでいく



なあ君

なのだが

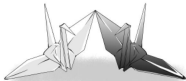
彼と善になつては
くれないか？



こんな蟹きは
初めてだ



鶴丸国末(白)×鶴丸国末



彼らは何故神は
悪神者の霊力により

人の器に魂を宿させ
刀として主の為に
戦火に身を投じる日々

また同時に人としての
暮らしも味わっている

ま

同じ毎日はない
大なり小なり
驚きはある

驚きの白さ
つてな

今日は早く
終わりましたね！
じゃー近所の
長谷部さんに
終わった事伝えて
実ますね！

ああ
願んだ！

人間の身にも生憎にも
慣れたきた所か

ああ
でも

最近
ふと思っ







誰か資料では
太刀と打刀が二振ずつに
大太刀と短刀って
話だったよね？

あ、これ！
お相手さん
一人足りないよね



特にそのもの
緒丸さんには
いい刺繍だと
思うよお

ん？
何を驚かそうのかい？
そのっちは
羨しみだな
だがそういう事は
黙っておくものだけ？



もう少しで
来ると思うから
待つてて
構わないか？

ひと一倍
気合入ってる
から羨しみに
しててよお

あ、あ
すまん
こもとの服装の
準備が遅れてな



お、
噂を！

同感だな
それじゃあ
折角の働きも
無駄しちゃうぞ加州

そこは
リーダーの顔の
見せ場でしょ？



はは
手厳しい
忠告だな

まあ(羨しみごと
言われたや
同時に忠告
ないとなあ





黒い龍丸……
(續)





遅れて
すまない



寂あつて
こんな夜密だが...
まあ一種のパグだな
どうだ聞いたが?

ああ...
悪い俺は
初見だからな

そりかきうか
君にそり言つて
買えんと嬉しいな

?



バて...
んか

君に
あつた

君



今回の調練相手の申し出
俺が主に頼んだんだ

君が?
また何の爲に?

ぎょっ!!

!?

!!

君を
娶る為だ
鶴丸国永

俺が勝った娘には
番になってもらうぜや
ぶろほーずって
やつだな

あつ...
あつ...
あつ...



はああああ!!



ふむ
良い働きっか
増々気に入ったぞ

人の話を聞け!!



まあそう、
かつかするな
貴族なんざ
勢しくもない
話だろ

いや
だから...

chu

彼の言葉で驚き
戸惑う姿も魅力的だが

笑った方が
もっと格好いい
良いと思ってる



驚きを通り越して
思考が全く
ついていかん！

取り敢えず
君が色々バダってるもの
だけは解った……



なあに心配するな
必ず君を幸せにする
大団圓に導いたつもりで
いてくれて構わないぜ

おつと
勿論夜の方も
任せとくれ!!
君を満足させる
自信はある♥

愛……

だ……
駄目だ



って
いつまで
寝ってるんだー

醒れて
いるのか?

んな訳あるか!!



僕に
手かたとして……



女の主の
言い方からして
この鞠丸の
言うことは事実……

……



調子が狂う

どういう
意図があるかは
知らんが

「生憎と
重かされっばなし
つてのもし
性に合わなくてな
特だ



ほう、
俺はまだ
足りないが、



自分の
分業からは



驚いて
貰おうか!!









いいい、や
別に……

あ、大切に押されてたの
忘れて

おっと
まだ茶が
残ってるぞや

そろそろよ
お角のお茶が
勿体ない

残すのは
關心しません

しゅ!!



き、君ら
楽しんでるだるけ

当たり前じゃ
ないですか！
満腹でほぼ無傷で負け
筆まで水口負けで
経験値も悪い無敵
そろそろ退られませんか
からね

実に興味深い……

茶漬けには
神ってこいだな

強盗者!!
人でなし!!
鬼!!



その場にいた
僕達が代弁
してあげるお

まし、僕たちに
任せろよ

げ!



そんな旦那に
助け舟だ





はは
面白い
面白い

同じ編みだけあって
やりにくい

動きが
固いのだ！



は

は



しまった！！





此、種族
感じやすいんだな
まだ苦も入れてないのに

もしかして
初モノかい？

んん...

ど!!

ど!!

ど!!

ど!!

どうして！
どうして！
どうして！

何が

ど!!

何がどうなの？
いるんだ？！

（ ）

ど!!



国屋のような可愛いな国衣は

!?

な



それ君の申し顔を受け入れた覚えはない

ちよちよと待て!!
この勝負は引き分けだろ!!



君と同じ鶴丸だが?
愛する君にしか使わないから
安心しろ!

何なんだ君は!!
ささっきから
気安く「国衣」と
呼ぶな!!



は

まあそんなことより
この勝負場の
勝ちなよ



つまり
君の負けだ

相手が敵なら俺は
三回は斬りつけてる

君は俺に背後を
取られた上に
口説いまでされた

開合いをつめられ動揺し
対応が滞れた結果だ



なかに
レベルなんてすぐに
上がるさな
気にするな

別のことで
気にするがな...



さ、主の他に
種族はなにをな

.....



そしてこれが敵の攻撃なら
君は確実に折れている

レベルの差は多少あれど
「同じ種族」という立場から
勝がうまれたんだ



動けなかった

愛蔵とは
全く別物の……

絶てを見透かす
ように真つ直ぐ
先を見つめる瞳

……

確かに
有様は敗られたが
自分の分際だから
諦めたとか
そんなのじゃない

……







がーろがろがー
この君の君になつた
覚えはないぞ
あと抜けてくるなと

所用でこの本丸に主と
来たんだが
愛する妻に会いたくてな
会議こっそり抜けてきた
主には内緒な
君は中絶
おかしな

君って本丸
置かサマ達
あるよなよ
うーうー!!
〔なんでいるんだ?〕
心の臓が
止まるかと思った!

んんん
会えて嬉しいっつた
いや素晴らしいな
うんうん
おかしな
おかしな
おかしな

?!?!?

よいしょか

悪いが二人っきりで
隠したいことがあるから
ちよいと借りてくぜ

おつとそれと
しほしの周囲には
誰も居るらないように
してくれないか?

え?

どうやら
こつちの電は
自分と初々しいんでな

?!!!

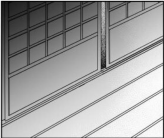
え?ああ
ん、どうも...

おれ?
(なまけ)

こいつの
部屋って何処だい?

羽の指りを
た〜面がって
見張ります

ありがとな







んんん!!
んんん!!



んんん!!

んんん!!



んんん!!

んんん!!



んんん!!



んんん!!



頭が真っ白で...





……

……



わんわん

わんわん



何だこりゃ
……

ふふ
……

……



本日は
まだ手を出すなって
言われてたんだが…

なんだー

なんだー

なんだー

なんだー

なんだー

なんだー

なんだー

なんだー

なんだー

なんだー





かき

また祝由でたな
そんなに神かったか？

もちが...

はは
下の口が
正確だがなあ

「神道心」

Pi Pi

Pi Pi Pi Pi



じやあな

つて
これ解いてけ——!!

また出る



……
まさか……



アイツは
時間を見つけては
度々来るようになった

あー

あつ
あつ



あれから数日が経ち



子供達をこ
はなして



のたーは
驚いたが!!

「おれに謝るな平蔵
」の叫びでアツアツ

そのは
輪丸同士
意見が合した



助闘に事前の
連絡はない



驚きおし
してやる



同調あり



互いに
驚かせ合いの日々

驚いたわろ

あつ
あつ

あつ
あつ

いつの間にか
アイツと通じず時が
「楽しい」と想っている自分がいた



あ、
轟丸さん！



嬉しい！
今日も争取つたんだね！
ここ最近負けなしたね

おれ
最近獅子
負けてなき

いいなあ



あ、その時、
さっき轟丸さんと
交わった

こりや驚きだな





さて、まずは
主に観望報告っと

まー

やはり
うちの鶴丸でも
駄目でしたか

残念だが
見ての通りだ
主の考えは
また外れたようだな

鶴丸?

白い鶴丸と
性交を助べば
お前も白くなれると
思っていたんじやがなあ…

今までさあままな事を
講じてきたがどれも失敗
バグとはいえ
白く観望させてやれなかった
せめてこの命尽きる前にと
思ったのじやが

ちよつと観望
なに観望でもないことー

それにもしかしたら
回数と時間を要するのかも知
りませんがよ！
前例が無い為
暫く経過を見ることに
致しますよう



あれ...?

ふ...さびに 花恋

ふ...さびに 花恋

はなはなはなはなはなはな

ふ...さびに 花恋

はなはな

はなはな



ああ…
そうか
きつこ…れが



はは

俺は君の「兄弟」…

さーさーさーさー

さーさーさーさー

さーさーさー
さーさーさー





いやあ
あまりにも可愛くて
ついなき
すまんすまん

ええ、
アプリケイトな案件で少し
幅を見てと考えて
いたのですが……

……それにしても職上
いつの間にか手を出して
いたんじやお前は？
まだ相手側には
詳細を知らせておらんぞ
いうのに
悪いなあ



気のせいとか？



そもそも俺はこのままの姿で
別に構わないって
言ってるだろう、主？

初めて会う奴には
いい態さを
示されるしな
存外悪くないぜ？



それに俺は
純粋にあいづの……
……ん？

どうした？

今
部下に
気配が……







さっき風から
君が居ると聞いてな
待つていたんだ。

.....



君、
聞いてたんだろ？

ん？

ああ、すまん、すまん
立ち聞きする奴は、僕もな
無かったんだが、僕もな



君だつて嘘だ
白くありたいと
願うのは必然だろ。

無理する
必要はない



わっ!!
聞いたか!!

君、背後が
がら空きだぜ!?

わっ!!

まあ
外見がどうあれ
君が君であることに
違いはないと
俺は思うがな……

俺を使えばいい

うん
白い俺が言っても
確実にしか聞こえないか

君と出会って
表面の働きと裏の時間を
買った

だったら

射いた
君の瞳みならいくらでも
この身を懸し出すぞ……

例えこの気持ちも
僕はかなものでしか
ないとしても

だが白い俺と愛われれば
君も白くなる
可能性はあるんだらう？

俺を見つめる真つ直ぐな瞳が
暖かくて優しい瞳が
好きだった……

それが
今の俺に出来るの
唯一の「方法」なのよ...





俺は本当に
君を好んでいると
言ってるんだ!!

はっ

まっ

まっ



俺は初めからこの姿でな…
主は行く準備してやらなかったと
ずつと悔いでいて
様々な面を隠しては俺に試してきた

だが俺は
黒くても「悪犬」として
主が必要としてくれる…
それだけで十分だったんだ



だがさのき…

確かに俺を白くする為に
主が色々考えて動いてくれている
のは事実だ…



だから
この計画にも
気乗りはしなかった

椿火…

だが
あの日…



近衛でこの本丸へ
初めて動れた時に



無慈悲を
見つけて



楽しいと思っただけ...





一目惚れってやつだ…

君の姿が
あまりに美しく思えてな…

あんなに…
可愛らしい…

滑っておくが白い体
君が初見という訳ではないぞ？
だから体着身
自分の気持ちに驚いたもんだ

それからすぐに
主に頼んで後継如手に
君の本丸と君を指名したんだ



おむね



おむね



おむね

おむねとんだ
トクナキ次が



おむねも
おむねいんだぞ？

おむねうと思っただけで来てみりや
後継的な性格してるし
手を出してくれと回ってるような
ものだらうあはは？！

おむねの言葉

おむねの言葉
おむねの言葉
おむねの言葉



いっせー
あつてきないよ

国水

お蔭で
自分の気持ちにも
気が付いたかな

すまない
嫌な思いをさせて
しまったな

でも、そなたな…
そう思うなら
助めて貰おうか

君の言葉も
眼差しも

ああ



初吻だ

あ……あつ

んん……

全て
本物だったんだな









こんなに可愛くて
愛しい君に騙られてはな
理性なんざ利くわけがない

……悪い女
俺しく泣き干すにない…
君の前では余裕なんて
少しもないさ…



ん…んん

君の顔で
目が眩む…

身…



つる…

君の視線が、声が…
心の臓の音が…
熱が…





ほんと
可愛いな君は

お



んあつ...



お...
そこはつか
そんな風めるなあ...



ああ!
やら...

自分の分量を
測くのは君が初めてだが
ここまで感覚がいいとは
いや、調子が特別
なのかもな...



それより君
そのその調子どう?
イっていいぜ



あ...

はぁ

はぁ

いんなら...

あ...

あ...1番...1番...

はぁ

あ...1番...

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

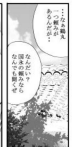
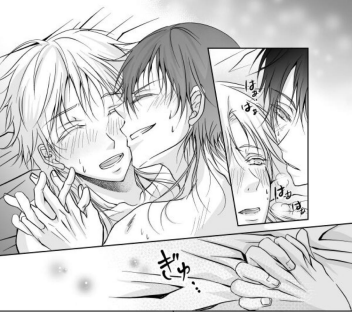
はぁ











俺は君に
ちやんと返事を
返していない

国水

いや

ん。

最愛なる
白き瞳よ

この瞳を
愛して
くれるか

他の誰でもない
君がいい





ああ

喜んで



俺も
君がいい



君と共に
有りたいと願う
この気持ちには

同水
可愛い

同じ顔だね

でも
可愛い

そりや
どうも

君が与えてくれた
一歩の難きだった

聖輪どれが美穂に奪れた理由



聖の毛のかわりに味替も感じました。



こんにちは読者です。
 この巻の本巻のあらすじについて美穂編の概要をご紹介いたします！
 今回の編題は、とうらびでは初めてお披露出となるようです。と聞いてはいる
 けれど実はこのところない日お披露出の準備中という状況になって居ましたのでこの
 編題も少しながら書いてみるのぞきながらの予定で書かせて頂きます
 どうかお付き合い下さい。是非とも読んで頂きたいです。ではいっしょ

「編」で書かれていく内容は「編」での内容をたいてい編で読み始め、
 美穂が編のよさあつたイメージで読み終えるのが、
 美穂の編のよさあつたイメージで読み終えるのが、
 そして編のよさあつたイメージで読み終えるのが、

編のよさあつたイメージで読み終えるのが、
 編のよさあつたイメージで読み終えるのが、
 編のよさあつたイメージで読み終えるのが、



発行：星の川（編集 編）
 定価：11000円（税別）
 サイトURL：美穂、聖の川に美穂が奪れた理由。
 美穂の編のよさあつたイメージで読み終えるのが、
 Twitter：美穂・聖の川に美穂が奪れた理由
 Price ID：400000

編：美穂、聖の川に美穂が奪れた理由
 編：美穂、聖の川に美穂が奪れた理由
 編：美穂、聖の川に美穂が奪れた理由

♥THANK YOU FOR READING♥

有難う御座いました♡

chu♡

TSUBUMARU

KUNINAGA

TOUKENRANBU
FAN BOOK #4

KUNINAGA TSURUMARU

KUNINAGA TSURUMARU

本日、別冊に収録されました。

